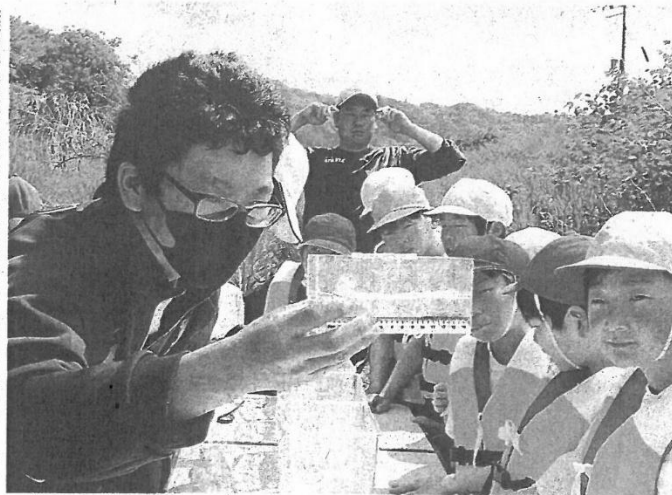


篠山東雲高校の生徒(左)の説明に聞き入る多紀小学校の児童たち。丹波篠山市草ノ上



多紀小学校4年生

## 篠山川で生き物調査

### 丹波篠山

多紀小学校(丹波篠山市草ノ上)の4年生17人が、学校前を流れる篠山川で生き物調査に取り組んだ。青

空の下、水生生物に詳しい篠山東雲高校(同市福住)の教諭や生徒にアドバイスをもらいながら、川に入っ

て魚や昆虫などを捕まえ、生態を学んだ。市に登録された環境分野を専門とする講師が授業をする「エコ・ティーチャーのおもしろ環境講座」の一環。市農村環境課によると、

### 篠山東雲高の生徒ら助言

2012年に始まった取り組みで、現在、生物保全や地球温暖化対策など17項目の講座を開いている。

本年度初回の同講座では、同校の教諭や自然科学部員、OB、OGが指導役を務めた。

児童らは網を手に川へ。高校生らから採集のこつを教わり、石を動かしたり、水草を揺らしておびき出したりしながら、魚類のカマツカや水生昆虫のヒラタドロムシやコオイムシなど計約20種類を見つけた。採集後は仲間ごとに分類し、水を張ったトレーや水槽に移して観察した。

同部の部長(17)は「ヒラタドロムシは石の下に隠れることが多い」「コ

2026年5月13日

神戸新聞

オイムシは雄が卵を背負うため、この名が付いた」などと説明。児童は熱心に聞き入っていた。

部長は「川の生物について関心を持ち、環境を大切にしてほしい」。スジ

エビやカワムツを見つけた。きん(9)は「こつを教えてもらい、いろんな生物が捕れた。みんな活動できて楽しかった」とほほ笑んだ。